

【事務事業調査】

事務事業名	さくら警察署管内少年指導委員会補助			予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
				コード	001-100401-002-01-01-0
担当部課	教育部 生涯学習課	担当	社会教育担当	事業の分類	既存事業
		係長	宇塚 利和		

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	H22事後評価 少年の非行防止と健全育成並びに少年の安全を確保する活動の推進に努めるため、さくら警察署管内少年指導委員会に対し、団体運営費及び事業費を補助しました。	犯罪の予防及び少年の補導活動、健全育成広報活動、環境浄化活動などを通じて、さくら警察署管内の青少年に非行防止や健全育成ができる環境を整えることができます(ました)。
	H24事前評価 少年の非行防止と健全育成並びに少年の安全を確保する活動の推進に努めるため、さくら警察署管内少年指導委員会に対し、団体運営費及び事業費を補助します。	
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
立ち入り調査の回数	2回		各種行事等の街頭補導活動、立ち入り指導 【他の事業】 小中学生下校時のパトロール活動 有害図書ビデオ等自販機の発見排除活動 少年たまり場の発見排除活動 広報啓発活動

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 補助金	80	H23年度と同額要求
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	80	

■事業費(実績)

【単位:円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	80		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	80		

■補助金等名:さくら警察署管内少年指導委員会補助

■補助事業者等:さくら警察署管内少年指導委員会

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	さくら警察署管内における「少年の非行防止と健全育成並びに少年の安全を確保する活動を推進すること」を目的としているので、公益性は保たれると判断します。
		■町全体に波及効果が期待できる。	
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	さくら警察署管内少年指導委員会の目的の中に、「青少年の健全育成」を掲げているので、地域経営計画に即した事業が展開されています。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	青少年の問題に対し専門的な組織団体が取り組むことによって、民間、NPO、ボランティア等、既存団体と連携を図りながら、地域全体で、青少年の健全育成を推進することになります。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	事業効果は、すぐに表れるものではありませんが、こうした青少年の問題に対し専門的な組織団体が、各種団体と連携しながら地道に取り組むことは、「青少年の健全育成」に貢献しているものと判断します。
		■予算の見積が適正である。	
5	適格性	■実施体制が明確である。	「補助終了後の自主運営」については、団体の期待どおりに行かないという現状にあります。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	
合計点数		36	
総合評価		継続	